



## 大学新入試英語 4 技能試験の動向

## NO.73

ご存じの通り 2021 年に大学生となる現在の高校 2 年生から入試の際に英語 4 技能試験が原則として課されます。この度、文科省より各大学の対応について公表されましたので資料をご覧ください。お気づきのように大学によって対応はまちまちで、現在高校 1 年生以下の生徒諸君が受験をする段階では更に変更があるかもしれません。これまでもお伝えしてきた通り、情報に振り回されずに、まずは日常の授業を大切にしましょう。入試制度がどう変わろうとも毎日の予習・復習・小テスト・提出物といった誰もが当然やるべきことを確実に実行することが大学受験に直結していくはずですよ。

2021 年度入学者選抜における「大学入試英語成績提供システム」参加試験の活用予定（国立大学・一般選抜）

<2019 年 5 月 13 日現在（文部科学省調べ）>

活用方法		大学名（学部等名）	大学数 （※1）
①出願資格として活用	CEFR A2 以上	埼玉、千葉、東京、東京医科歯科、東京外国語、東京農工、東京工業（個別学力検査（前期日程）英語の一部に活用）、お茶の水女子、電気通信、一橋、横浜国立（経済学部）、岐阜（医学部医学科）、浜松医科、名古屋、滋賀、京都、大阪、神戸、鳥取（農学部共同獣医学科）、島根（医学部医学科）、徳島（医学部医学科、歯学部歯学科、薬学部）、香川（医学部医学科）、愛媛（医学部医学科）、九州、琉球（医学部医学科）	25
	CEFR A1 以上	帯広畜産、宮城教育、横浜国立（経営学部、理工学部、都市科学部建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科）、上越教育、金沢、福井、京都教育、徳島（上記以外）、香川（上記以外）、愛媛（医学部医学科以外）、高知、福岡教育、熊本	13
	CEFR 基準の定めなし	奈良女子（※4）、岡山（※4）、広島	3
	CEFR 基準は未定	旭川医科、東京海洋、滋賀医科	3

②点数化して加点 (大学入学共通テストの成績に加点)	北海道教育、室蘭工業、弘前、岩手、秋田、福島、茨城、筑波、筑波技術 (産業技術学部)、群馬、東京藝術 (美術)、新潟、長岡技術科学、富山 (人間発達科学部、経済学部、医学部、薬学部、芸術文化学部、都市デザイン学部)、信州、岐阜 (医学部医学科以外)、静岡、愛知教育、名古屋工業、豊橋技術科学、三重、大阪教育、兵庫教育、鳥取 (地域学部、医学部生命科学科、医学部保健学科、工学部、農学部生命環境農学科)、島根 (医学部医学科以外)、山口、鳴門教育、九州工業、佐賀、大分 (医学部医学科以外)、鹿児島、鹿屋体育、琉球 (医学部医学科以外)	33
③出願資格及び点数化して加点	小樽商科、横浜国立 (教育学部、都市科学部都市社会共生学科)、信州 (教育学部英語教育コース)、京都教育 (英語領域専攻)、鳥取 (医学部医学科)、長崎、大分 (医学部医学科)	7
④一定水準以上の成績で大学入学共通テストの「英語」を満点とみなす	東京藝術 (音楽)、福井 (国際地域学部)、広島	3
⑤高校が作成する証明書等の併用	埼玉、東京、東京医科歯科、一橋、浜松医科、名古屋、京都、奈良女子	8
⑥高得点利用 (大学入学共通テストの「英語」の得点と比較)	富山 (人文学部、理学部、工学部)	1
⑦活用するが、現時点で活用方法を明示していない	北見工業、山形、宇都宮、東京学芸、山梨、奈良教育、和歌山、宮崎	8
⑧活用しない	北海道、東北 (※4)、筑波技術 (保健科学部)、京都工芸繊維	4

※1 大学数には、一部の学部等のみで実施する場合を含めています。

※2 2019年5月13日現在の情報であるため、最新情報は必ず各大学のウェブサイトを確認してください。また、各大学における活用方法の詳細についても、各大学のウェブサイトを確認してください。

※3 「活用方法」には、当てはまる箇所全てに記入しているため、複数欄に記載されている大学もあります。

※4 当該大学については、A2レベル以上の英語能力を有していることが望ましいとしています。

## そもそもCEFRとは何？

「外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR: Common European Framework of Reference for Languages)」は、言語の枠や国境を越えて、外国語の運用能力を同一の基準で測ることが出来る国際標準です。

基礎段階の言語使用者から熟達した言語使用者までをA1, A2, B1, B2, C1, C2までの6段階に分けています。具体的にA2レベルは次のように説明されています。本校の生徒であればかなり早い段階でクリアできる基準と言えます。従ってA2をクリアして安心するのではなく、さらに上を目指して努力する必要があります。

### A2レベル

ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。

新入試で使用される各種外部試験とCEFRの対応表は以下の通りです。印刷された状態ですと判読しにくいと思いますので、興味のある方は次のウェブをご参照下さい。

英語4技能試験情報サイト <https://www.4skills.jp/>

CEFR	ケンブリッジ 英語検定 Cambridge English Qualifications	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230   200 (210)			9.0   8.5				
C1	199   180 (190)	3299   2600	1400   1350	8.0   7.0	400   375	800	120   95	1990   1845
B2	179   160 (170)	2599   2300	1349   1190	6.5   5.5	374   309	795   600	94   72	1840   1560
B1	159   140 (150)	2299   1950	1189   960	5.0   4.0	308   225	595   420	71   42	1555   1150
A2	139   120 (120)	1949   1700	959   690		224   135	415   235		1145   625
A1	119   100 (100)	1699   1400	689   270					620   320

は各級合格スコア ※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

英語4技能試験情報サイトより転載

## THE(=Times Higher Education) 大学ランキングの日本版

THE とはイギリスの教育専門誌が毎年発表する大学ランキングですが、日本でよく見かける単なる偏差値のランキングではなく、「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」という 4 分野と 16 項目で集計を行います。日本国内の大学では御覧の通り京都大学が 1 位にランクインしました。京都大学は国連が掲げる SDGs (持続可能な開発目標) に対する取り組みが高く評価されているようです。

順位	大 学 (日本国内)	大学 (世界ランキング)
1	京都大学 (国)	University of Oxford (英)
2	東京大学 (国)	University of Cambridge (英)
3	東北大学 (国)	Stanford University (米)
4	九州大学 (国)	Massachusetts Institute of Technology (米)
5	北海道大学 (国) *5 位同率	California Institute of Technology (米)
6	名古屋大学 (国)*5 位同率	Harvard University (米)
7	東京工業大学 (国)	Princeton University (米)
8	大阪大学 (国)	Yale University (米)
9	筑波大学 (国)	Imperial College London (英)
10	国際教養大学 (公)	University of Chicago (米)
11	国際基督教大学 (私)	ETH Zurich (スイス)
12	広島大学 (国)	Johns Hopkins University (米) * 1 2 位同率
13	早稲田大学 (私)	University of Pennsylvania (米) * 1 2 位同率
14	慶應義塾大学 (私)	University College London (英)
15	一橋大学 (国)	University of California, Berkeley (米)

THE ランキングには実はいくつかのカテゴリーがあって “University Impact Rankings” なる指標があります。この指標は SDGs への取り組みを中心にした世界ランキングで、上の表とはガラッと様相が変わってくるのが面白い所です。1 位はニュージーランドの University of Auckland がランクインし、上位には北欧、カナダ、イタリアの大学が多いのが特徴です。このカテゴリーの中で京都大学は総合 48 位にランクインし日本の大学では最高位でした。興味のある方は次のウェブをぜひご覧下さい。

<https://www.timeshighereducation.com/>